

現代イギリスにおける 労働者階級の政治的排除

The New Politics of Class: The Political Exclusion of the British Working Class

講演者 James Tilley教授(オクスフォード大学)

日時 2018年10月16日(火)15時30分～17時30分

会場 成蹊大学 6号館 6階602会議室

使用言語: 英語。無料。

(講演概要) BREXIT (EU離脱)に揺れるイギリス。2016年国民投票であらわになった社会の分断は、なぜ、どのようにして広がっていたのか。ティリー教授は、綿々と続く階級間格差こそが、その主たる要因であることを実証的に説いてきました。既存の政党は、分断を連帯へとつなぐことはできなかったのか。この問いに対して、ティリー教授は、大政党が中流中心の政治に傾注してばかりいたことが、労働者階級の政治的疎外を深めてしまったと議論します。疎外感を強めた人々は、右翼ポピュリスト政党への支持、総選挙での大規模な棄権、そして、BREXITを決した国民投票における劇的な「階級投票」に向かったというわけです。

アメリカ、イギリスをはじめ主要先進国では、労働者階級の政治的排除が、民主政治の基盤を揺るがす事態を招いています。

日本でも新しい階級社会の出現と分断の深まりが指摘されています。21世紀型共生社会の実現を目指す手がかりを、一緒に考え、議論しませんか？

Professor James Tilley

オックスフォード大学教授。専門は政治学。主な研究分野は世論と投票行動。

近著: *The New Politics of Class: The Political Exclusion of the British Working Class* (Geoff Evansとの共著、Oxford University Press: 2017)



共催: 科学研究費基盤研究B「自由主義伝統のなかのイギリス政治と2000年代後半以降の変化に関する政治史的研究」・成蹊大学研究ブランディング事業

コーディネーター: 今井貴子(成蹊大学法学部)
お問い合わせ先: takako-imai@law.seikei.ac.jp